

平成27年度消防庁政策動向

(石油コンビナート等災害対策関連予算案)

平成27年3月27日
消 防 庁

ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)の中核となる特殊車両の配備等

- 大規模地震等による石油コンビナート事故等のエネルギー・産業基盤災害に的確に対応するため、緊急消防援助隊に新設した「ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)」を平成30年度までに12隊配備(「日本再興戦略」改訂2014閣議決定(H26.6.24))。
- 即応部隊の中核となるエネルギー・産業基盤災害対応型消防水利システムを配備するとともに、エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットを研究開発。

H27予算(案) 6.4億円

① エネルギー・産業基盤災害対応型消防水利システムの配備4.0億円(2.0億円×2システム)

- 水利システム構成(2台1組)

大型放水砲搭載ホース延長車

大容量放水及び大口径ホース1km延長

大容量送水ポンプ車

小型強力ポンプを搭載し、海・河川等の水利から大容量送水

- 平成30年度までに12隊配備(平成26年度 2隊新設)



大型放水砲搭載ホース延長車

大容量送水ポンプ車

※ 写真は現時点でのイメージ

② 無人ヘリの配備 0.2億円(0.1億円×2機)

- 災害現場において、いち早く上空から画像情報等の収集を行って災害の全体像を把握し、効率的・効果的な活動に貢献



③ エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットの研究開発 2.3億円

- 情報収集・放水ロボットを研究開発するとともに、順次、実用化・高度化
 - ・ G空間×ICTを活用し、精度の高い遠隔操作を実現
 - ・ 人が近づけない現場でも近接し、消防職員の安全向上
- 平成26年度から研究開発に着手。平成30年度完成を目指す。

